

フジイ ヒデアキ

藤井 秀昭

経済学部・准教授  
博士(エネルギー科学)／京都大学

主な研究業績

- (単著)藤井秀昭『入門・エネルギーの経済学』日本評論社、2014年
- (単著)藤井秀昭『東アジアのエネルギーセキュリティ戦略 持続可能な発展に向けて』NTT出版、2005年
- (共著)岡村宗二編『信頼と安心の日本経済』勁草書房、第9章「日本のエネルギーセキュリティ戦略の課題」(175頁-202頁)執筆、2008年
- (共著)植草益編『エネルギー産業の変革』NTT出版、第9章「日本の石油産業：規制改革」(285頁-320頁)執筆、2004年
- (Co-author) Paul B. Stares (ed.), *Rethinking Energy Security in East Asia*, Japan Center for International Exchange (JCIE), Chapter III Japan (pp.59-78), 2000.

## 研究テーマ

## 低炭素社会に向けた経済的手法の活用に関する研究

## 概要

東日本大震災後の日本が、これまでのように世界で一流の社会であり続けるためには、これまでもまして気高く高邁な哲学を維持し続けることが重要です。そのためには気候変動の緩和とそれへの適応、生物多様性の確保、循環型経済社会の構築などの「サステナビリティ学」を構築する必要があります。この課題に取り組むためには、文理融合の学際的研究が必要不可欠です。

こうした認識のもと、サステナビリティ学の構築へ向けての研究を推し進めると同時に、この地域に住む方々へのサステナビリティ学の啓発活動を実践するよう努めようと、2011年7月、京都と滋賀の大学が連携する新しい組織を、滋賀大学学長の佐和隆光教授を会長として、京都・滋賀サステナビリティ・インスティテュート(KSI)として立ち上げ、わたくしも理事の一人として発足に携わりました。

サステナビリティ学の研究者を擁する大学・研究所が、京都と滋賀に少なくとも10前後もあり、それらが連携することにより、サステナビリティ学の新たな学際的地平を切り拓くことが期待されています。

## 応用分野

- ・京都・滋賀地域のエネルギー環境総合政策の立案と提言。  
(京都・滋賀サステナビリティ・インスティテュート(KSI、会長:佐和隆光 滋賀大学長、理事:藤井秀昭ほか数名)との連携。)
- ・エネルギー環境政策の基礎理論と応用に関する初等・中等・高等教育機関、地方自治体、実務家、市民に向けての教育活動。
- ・以下は参考までにKSIの定款で定められた事業内容。
  - (1)研究会・シンポジウム等学術集会、講演会、講習会等の開催
  - (2)会誌、研究報告及び資料、その他出版物等の刊行
  - (3)会員相互、内外の関連学術団体との連絡及び協力
  - (4)研究、調査、提言等の作成と発表
  - (5)その他本会の目的を達成するために必要な事業